

糸狀にして黒く先端白し、其基部に二黒點あり、三木、黒岩兩氏が琉球列島中石垣島に九月の候に採集せられし者にして未だ他に産するを聞かず、此種は *Rapala* 屬に收む可きか否やは明ならざれとも暫く疑を存して茲に掲ぐ、圖は東京帝國大學理科大學動物學教室所藏の標本を寫生したる者なり

仔虫食草等未詳

## 雜 錄

● 猥りに外國より鳥獸を輸入するは危険

なり(續き)

「鼠」 鼠害の太甚しきものたるは素より言を俟たず惣じて此類はみな小形の動物にして吾人が殊に甲地より乙地に輸送する事なきも善く船舶の中に潛み以て各地に蔓延するものなり而して前に述べたるアルダブラ島に於ては随分蕃殖して陸産の龜の子の生るゝを待て食し又セーブ島にては倉庫内に侵入して貯藏したる穀類を貪食し住人をして飢に迫らしめし事あり

左に一二の例を擧て鼠の繁殖旺盛にして蔓延の迅速なる事を説ん、尋常の褐色鼠 *Mus decumanus* (東京にて家屋に住するものは本種と次の種類と相混ぜり) は素と支那西部の産にして二百年前迄は歐洲米國共に此種を生ぜざりしが元來繁殖旺にして一年數回子を産し一回に四頭乃至十二頭を生ずるを以て現今にては殆んど全世界に蔓延せり今其來歴を略述せんに最初千七百二十七年の秋此鼠は多數群を爲してヴォルガ河を涉り魯國東部のアストラカンに歩を駐め夫れより西方に進行し歐洲中部に瀾蔓し五年の後(千七百三十二年)印度より歸航せし船によつて英國に達せり又千七百五十年には普漏西亞の東部に現はれ千八百九年にはデンマーク及びスウェーデンに出たり其米國の東岸に移りしは千七百七十五年にして千八百二十五年には已にカナダに達し千八百五十五年には太平洋沿岸の諸州に蕃衍せり而して目下合衆國にては南部を除き此種の棲息せざる地なしと云ふ

黒色鼠又家鼠 *Mus rattus* も亦た恐らくは亞細亞産の鼠にして歐洲へ移傳せし年代は不詳なるも已に中世期に於

て歐洲中央の普通の家鼠となりしと云ふ新世界に來りしは千五百四十四年にして前種の鼠に先だつ事凡う二百年なり其間頻りに繁殖して海岸に瀰蔓し主要なる港灣はみな此鼠を産するに至り現世紀の中頃には北はカナダより南はカリフォルニアに達せり然れども褐色鼠の傳來せし已後大に其數を減じ從來本種の最も多かりし地方にても今は甚た稀に見るに至りしと云ふ而して印度洋中に在るラカディブ島にては黒色鼠は其習慣を變じ樹上に棲息し未熟の椰實を食して大害をなすと云ふ

「兎」 *Lepus cuniculus* は世人の愛玩する動物にして歐洲より諸方に輸出す濠洲にても亦た之を輸入し最初千八百六十四年の頃メルボルンの近傍に放養したるもの頗る繁殖し千八百七十八年にはヴィクトリア及マレー河を越えて西方に蔓衍し大に農作物の害を爲すに至り翌年に於て濠洲南部にては其害太甚しきを以て驅除の法令を布きニウサウスウェールズ、ニウジールランド、クイーンズランド、タスマニアの諸邦みな其例に習ふに至り現今にては此兎の繁殖する地方は大に擴がり合衆國の三大洲と稱

するテキサス、カリフォルニア、モンタナの三州に匹敵すると云ふ茲に於て其害を蒙むる事彌々多く或は屠殺者に賞金を與へ或は毒藥を試み或は牆壁を築きて兎の進入を防ぎあらゆる手段を運らして驅除の方法を講じ數百萬弗の費用を抛て良法を求むるも遂に其効を奏せず或は猫其他の食肉獸を輸入して兎の蕃殖を防かんとせしも此等食肉獸は其効を奏せざるのみならず少くもニウジールランドの一地方にては却て害を逞うするに至れり而して千八百八十七年の如きはニウサウスウェールズのみにて殺戮したる兎の數は千九百十八萬二千五百三十九頭の多きに達せしも更に兎の減少を見ざるのみならず尙繁殖の兆顯著なりしと云ふ然るに慧眼なる商家は此機に乗じ兎皮の輸出を企てニウジールランドに於ては年々千五百萬枚を輸出し又近時は兎肉を罐詰として販賣するもの輩出し其販路亦た漸く擴がり今日にては實に後來有望なる營業の一と算せらるゝに至れり

「モングース」 *Herpestes mungo* 又は *H. griseus* は印度産の食肉獸にして鼠族、石龍子、蛇類を嗜食する習

性を有する事は夙に世上に知られ居たるを以てジャマイカ其他熱帯間の島嶼に輸入して甘蔗の害敵たる鼠の驅除に利用せられたる事あり當時此等の地方にて年々に被むる鼠害の額は實に夥多しきものにてジャマイカにては鼠の驅除費を合算して年々五十萬弗の巨額に達せり茲に於て島人相議り千八百七十二年に於て試に雄四頭雌五頭のモングースを輸入し蔗圃に放ちて果して鼠害を減するや否やを試檢せしがモングースは其食物の饒多なるが爲か或は害敵なきが爲め乎大に繁殖して十年の後即ち千八百八十二年に於ては鼠害大に減じ甘蔗作人の利する處二十二萬五千弗に達し島人は其効の顯著なるを見て實に策の當を得たるものとし輸入者の先見を賞揚して已まざりしがモングースは益々繁殖するも從ひ其固有なる貪食性は漸く現はれ來り最早鼠を以て足れりとせず豚兒、羊兒、貓兒、犬兒を始め地上若しくは地面に近く構巢する鳥卵より蛇類、石竜子、蛙、龜の卵、陸産の蟹は云ふに及ばず太甚しきは芭蕉の實、パイナップル、未熟の玉蜀黍、甘藷の如き植物質に至るまで苟も其目に觸るゝものは一として

此獸の犠牲に供せられざるもの無きに至り最初モングースを輸入したる時より未だ二十年の歲月を経ざる中に已に此獸の利は遙に其害に及ばざる事實を暴露せり茲に至り千八百九十年に數名の委員を設け善く此獸の利害を調査せしめしに其委員會は全くモングースの有害なる事を證明せり然れども爾後歲月を経るに従ひ一旦減少したる鳥類も再び繁殖し爬行類の如きも漸其數を増しジャマイカは最初大なる鼠害を被むりし時代を経尋て自ら招きたる食肉獸の大患を受けたる時期を過ぎ素より地方に固有なりし動物の關係は全く變じたるも兎に角近時に至りては何れの害も左程太甚しき事なく一旦紊亂せられたる動物界も今や漸く其平衡を回復せんとするに至れりと云ふ「雀」英國雀 *Passer domesticus* は本邦種と同屬異種なり其果樹を害し穀物を食し市街の家屋に巢を營みて其裝飾を汚し他の鳥類を驅逐して之に代り其害の太甚しき事羽族に冠たり然るに此鳥は多少蝶蛾類の幼虫を食するといふを以て屢々合衆國に輸入せしに其繁殖の速なる千八百七十年より八十年までには一萬六千平方英里の地に擴り

千八百八十六年には百〇三萬三千平方英里に蔓延し千八百九十八年にはモンタナ、ネヴァダ、ウッイオミング、アラスカ、アリゾナ、ニューメキシコの外合衆國中産せざる州なきに至り當初の希望は全く後悔の歎聲に變じイリノイス、ミシガン、オハイオ、ウタの四州にては賞金を抛て此鳥の撲滅を計り已にイリノイス、ミシガンの二州にては十一萬七千五百弗の費用を支出せり

合衆國の如き害虫の驅除には最も力め一流の學士を農務省に聘し善く調査を行ひ然る後驅除の實行を期する國にして本文の如き失策あり民間に在りて殖産の業を營むものよく動物相互の關係を討究するにあらざれば此種の災に罹る事多からん讀者宜しく注意して苟も外國より新に鳥獸を輸入せんとするものあらば其人に向て警戒の勞を吝む事勿れ

「ムクドリ」ムクドリの一種 *Sturnus vulgaris* は歐洲及び亞細亞の西部に産し本國にては主として昆虫を食餌とし幾分か果實を食し他鳥の巢を覗ひて其卵を害するの嫌なきにあらざれども先づ益鳥なりと稱揚せられ又スコ

トラシドに於てジョンギルモール氏は此鳥百七十五羽の營養管を剖見して其内容中七割五分は昆虫二割は雜草の實残り五分は雜物なる事を證明し其食餌たる昆虫の中多分は害虫なる事を示し更に卵殻の破片たも見出さざりしにより雲雀其他の鳥卵を害する事は誣言なるべしと云ひたれども濠洲に輸入したる結果によれば全く其習性を變じたるものゝ如く果樹園に大害をなし今や其撲滅を計るに汲々たりと云ふ

(中川久知)

### ●魚類に於る消化作用

從來高等哺乳類の消化に就てはフォイト、ペテンコーフェル、ストーマン諸大家の精確なる研究に依りて今日にては大に明細の域に達するを得たり然れども魚類に於る研究は殆んど皆無の姿にして従つて是に對する吾人の知識は全く茫漠たるものなりきカール、クナウテ氏は數年來魚類の消化作用を專攻せられ近頃大に有要なる論文を公にせられたり氏の材料は重に鯉なりしと云ふ腸管内の液體は酸性反應を顯すことなく又ペプシンの痕跡をも有せず而して腸管壁粘膜のエキストラクトはアルカリ性